



## NPO PTPL “ともいき” 便り No. 213

令和4年（2022年）9月23日発行

### ■ 秋分（しゅうぶん） 令和4年9月23日から10月7日までの節気

みなさま、いかがお過ごしですか。二十四節気では9月23日から10月7日まで、「秋分」の節気となります。暑さもおさまり、実りの秋を迎えるころです。

秋分は、彼岸の中日でもあります。この頃、昼と夜の長さがほぼ同じで、太陽は朝、真東から昇り、夕方、真西に沈みます。その沈んだ方角に極楽浄土があり、仏の世界である彼岸と私たちのいる此岸との境が弱くなると考えられています。ですから、秋分の頃にお墓参りをして、死者の来世における安楽を祈り、霊を慰めます。

我が家もお墓参りに行こうと思っていましたが、台風の影響もあって天気が悪く、延期しました。お墓に行かれないので、おはぎを買ってきて亡くなった家族の写真の前にお供えしてから、みんなでおいしくいただきました。

きなこ、黒ごま、こしあん、粒あん、青のり…。おはぎにもいろいろありますが、私は断然、粒あん派です。みなさんは、なに派ですか。

秋の彼岸になると、必ず咲くのが彼岸花。葉っぱがなくて長い茎がスーッと伸びて、花火のような花を咲かせます。花が咲くときに葉がないため「葉見ず、花見ず」と呼ばれます。葉は花を知らず、花は葉を知らずという意味です。彼岸を過ぎると、たちまち姿が見えなくなってしまうところも不思議です。このともいき便りが届く頃には、彼岸花はもう消えてしまっているかもしれません。

そしてそろそろ楽しみなのが「キンモクセイ」。ともいき便りの2012年「秋分」号に、NPO PTPLの理事長（勝田祥三）が、「モクセイ」について書いていますので、紹介したいと思います。

● 木犀(モクセイ) 中国原産、モクセイ科の常緑小高木、中国ではキンモクセイを丹桂、ギンモクセイを銀桂といいます。9月末ころになると百日紅(サルスベリ)の花と入れ代わるようにキンモクセイ、ギンモクセイの小花が咲き、爽やかな秋の空気に

ふさわしい浄らかな香りが漂い始めます。その芳香はいつのものことながら、しみじみと秋を味わわせてくれます。(私の住んでいる町にも、この時季になるとこの香りが漂い始め、私にとって、この芳香は秋を確認する印です。春の気配にふさわしい沈丁花の甘い香りと、木犀の秋の気配にふさわしい香りの高さ、この二つは春と秋の日本の季節を匂いによって代表するものと言えます。茂った葉のわきに小花が群がるように咲き、芳香を放って花の所在を知らせます。花は湿度が高く気温の下がる夜に、よく匂い、静かに深みゆく秋の思いを人々に告げてくれるのです。早くあの匂いを嗅ぎたい。私にとっての秋の匂いを。

私もキンモクセイの香りが大好きです。そして散った後、木の根元に広がるオレンジ色がきれいで、そして、少し寂しく感じます。

花の話題が続きますが、孫が9月に15歳になりました。孫のお誕生日の花を調べたら、「リンドウ」だったので、お誕生日にリンドウの花束を花屋さんに作ってもらいました。そうしたら、花屋さんが、「お供え花ですか？」と聞きました。「いえいえ、お誕生日にあげたいのです」と答えたら、意外そうな顔をしていました。確かに、地味。仏花の花束に、しっかりリンドウも入っていましたし。でも薄紫色のリンドウ15本の花束はシックで美しかったです。根に強い苦味があり、熊の胆より苦いので「竜胆」と書くのだそうです。花言葉は「勝利」。高校受験を控える孫への応援花です。

10月7日から9日、長崎市諏訪神社の祭礼、長崎くんちが行われる予定でしたが、今年も感染症拡大防止のため中止となりました。今夏、徳島の阿波踊りが3年ぶりに行われ、参加の踊り手などの4人に1人がコロナに感染したという報道がありました。対策はとっていたのですが、残念な結果になってしまいました。私の町の神社のお祭りも、3年ぶりにやるそうですが、御神輿も山車も出ません。秋祭りは豊作を感謝し、来年の豊作を祈る大切な行事です。来年こそは、山車を引く子どもたちの姿を見たいものです。

これから紅葉が始まり、街の景色が和らいでいきます。新米の時期ですね。我が家の‘ご飯のお供’のおすすめは、「山形県の晩菊」「広島県の広島菜ゆかり入り」です。おすすめのご飯のお供がありましたら、ぜひ教えてください。

10月8日(土)は、十三夜です。日本人が古来から愛でていた満月の二日前の、ちょっとかけているお月さま。見えるといいですね。

寒くなる前に、気持ちの良い季節を楽しみましょう。みなさま、お元気で。

すとうあさえ (NPOPTPL 会員)

## ■「ともいき便り」休止のご案内

いつも「ともいき便り」をお読みいただき心より感謝申し上げます。

思い返せば、東北大震災からほぼ1年がたつ2012年4月に第1号として「清明号」をスタートして以来、約10年と数か月、今回の便りが重ね重ねて213号になります。

10年続け、この便りの役割もひとつの区切りと私の体調を考慮し、この度、「ともいき便り」をこの号を持ちまして休止する運びとなりました。

私事ですが、数年前より体調を崩し、現在も毎日リハビリ中心の生活を過ごしており、以前のように活動を続けることが非常に困難な状況にあります。このNPO活動に心血を注いできましたが、少しずつ活動の幅を縮小していきたいと考え、まず、この便りを休止する判断に至りました。

この便りを通して、改めて二十四節気という季節の移ろいを見つめなおし、自然から学び育んだ日本人の知恵と工夫にあふれた季節行事や記念日があること、また旬の様々な食べ物を食する楽しみと喜び、この間多くの災害の発生による自然の恐ろしさ、そして満月を見上げる楽しさ、などなどいろんなことを題材にお届けすることによって、「日本とは日本人とは何か」を少しはお届けできたと思っています。

活動は縮小していきますが、完全にNPO活動を休止するのではなく、自分の今の状態でできることは続けていく所存です。

最後に、これまで応援並びに励ましの言葉をいただいた方々には心より、この場を借りて感謝申し上げます。

**日本 2022 ジャパネスク**

「ともいき」、「ともうみ」、「ともさち」、そして「和」。

日本から世界へ、世界から日本へ。和魂世界才へ。

勝田 祥三 (NPOPTPL 理事長)

■事務局便り

まずは、秋分号が遅れたことお詫びいたします。

理事長の文章の通り、この号を持ちまして「ともいき便り」は休止いたします。残念ではありますが理事長の体調を考えるとやむを得ません。

この10年間余り「ともいき便り」に携わり、色々と勉強もでき、多くの方々からご支援の言葉をいただきました。改めてお礼申し上げます。

この便りは終わりますが、活動は粛々と続けていく予定です。今後ともよろしく申し上げます。

●日本というものを基盤において活動する NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2022>

「ともいきチャンネル」[ともいきチャンネル - YouTube](#)

●会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

■ 電話：03-6432-5911      F A X：03-6432-5912      Email：info@ptpl.or.jp